

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

| | | | | | | | |
|--------|------------|--|---|--------|--|------------|------------------------------------|
| PLAN | 施設名 | 甲州市道の駅 甲斐大和 | | | | 検証日 | 令和5年7月3日 |
| | 所管課 担当名 | 観光商工課 施設管理担当 | | 課長名 | 大村 山治 | 作成者名 | 小澤 龍司 |
| | 指定管理者 | 名称 | 株式会社 エープレイス | | | | |
| | | 代表者 | 代表取締役 手塚 公彦 | | | | |
| | | 所在地 | 山梨県甲州市大和町初鹿野1811番地 | | | | |
| | | 指定期間 | 令和3年(2021年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月 | | | | |
| | 管理施設の概要 | 施設所在地 | 山梨県甲州市大和町初鹿野2248番地 | | | | |
| | | 設置目的 | 地域産業の振興と市民の福祉の向上及び都市との交流を図ることを目的に、広く一般のための施設として、道の駅を設置する。 | | | | |
| | | 利用者 | 市民、市民以外 | 施設管理体制 | 13名 | 開館日 時間等 | 9:00~18:00 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く) |
| | 事業概要 | サービス提供の内容 | | | | | |
| 指定管理業務 | | (1)経営管理業務 (2)施設及び設備の維持管理業務 (3)施設利用にあつたサービスの提供、指導等に関すること。 (4)その他日常業務 | | | (5)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く)。 (6)備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く)。 (7)その他施設の管理に関すること (8)業務の報告 | | |
| 自主事業 | | (1)そば切り発祥の郷づくり事業 (2)うらじろ(オヤマボクチ)を使った特産品開発 (3)市内外の観光イベント出店 | | | (4)そば切り・ほうとう祭りの実施 (5)地元を中心とした農家との連携 (6)飲料等の自動販売機設置 | | |

| | | | | | | | |
|----|-------------------|---|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| DO | 管理運営コスト推移 (千円) | | 令和3年度 (指定期間1年目) | 令和4年度 (指定期間2年目) | 〇〇年度 (指定期間3年目) | 〇〇年度 (指定期間4年目) | 〇〇年度 (指定期間5年目) |
| | 予算 | 指定管理料 | 2,850 | 2,700 | | | |
| | | 利用料金収入 | 127,360 | 131,420 | | | |
| | | その他収入 | 1,885 | 1,901 | | | |
| | | 管理運営経費 | 132,095 | 136,021 | | | |
| | 決算 | 指定管理料 | 2,850 | 2,700 | | | |
| | | 利用料金収入 | 128,746 | 178,768 | | | |
| | | その他収入 | 3,304 | 3,506 | | | |
| | | 管理運営経費 | 134,383 | 182,105 | | | |
| | | 収支 | 517 | 2,869 | | | |
| | 施設の移動状況 | 令和3年度 (指定期間1年目) | 令和4年度 (指定期間2年目) | 〇〇年度 (指定期間3年目) | 〇〇年度 (指定期間4年目) | 〇〇年度 (指定期間5年目) | |
| 指標 | 施設利用者数(人) | 109,761 | 149,197 | | | | |
| | 活動結果 | 令和4年度は新型コロナウイルス感染症による行動自粛が緩和されたことや特産品の販売や独自のイベントの実施など、域内に根差した活動が実を結んでいる。また、物価高騰の中でも計画的な収支等の経営努力により2,869千円の黒字営業となった。 | | | | | |

| | | | |
|-------|-----------------|----------------------------|--|
| CHECK | 評価観点 | 評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低 | 評価の説明 |
| | (1)事業の運営 | 4 | ・協定書通り適正に管理運営されている。 ・レストランコーナーを外部委託とし、自立した運営ができるようにサポートしており、その甲斐もあり受託業者の営業努力によって、多くの方から注目される人気店に成長するなど、そば処としてのブランド化に貢献している。 ・SNSを積極的に取り入れ活用することにより、広く情報提供を行い、利用者の獲得を図っている。 |
| | (2)施設の維持管理 | 4 | ・日常点検、法定点検等を着実に実行しており、指定管理者として対応すべき部分は積極的に対処している。 ・職員の朝礼の実施、定期的なミーティング、他の道の駅の視察などの職員研修も実施している。 ・照明設備などについても、計画的に改修している。 |
| | (3)収入支出 | 4 | ・収入に関しても特産品や独自イベントなどの実施により、前年比で50,074千円増加した一方で、世界的な物価上昇や、最低賃金の上昇などにより支出額も前年比で47,722千円増加しているが、収入が上回り、黒字経営となっている。 |
| | (4)総合評価 | | 総合評価の説明(施設所管課による一次評価) |
| | 優良 良好 妥当 要改善 不適 | 良好 | 特産品の開発や宣伝等努力している。また施設の改修なども計画的に行うことができているなど、適正な運用ができている。 |

| | | |
|--------|------------------|---|
| ACTION | 評価結果に対する施設所管課の対応 | |
| | 当面の課題 | ・施設も県内で2番目に古い道の駅となるため、老朽化が進んでいる。施設及び設備の更新と修繕が増えることが予想される。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ほうとう作り体験を中心とした体験事業の受け入れを休止していた。新型コロナウイルスが落ち着いた中で、再開についても、従業員の高齢化等の要因から事業そのものを見直さざるを得ない状況となっている。 |
| | 課題解決への対応 | ・日常点検、法定点検等を着実に実行し早期に対応する事により修繕費用を抑えるよう努める。また、指定管理者と協議しつつ、必要な更新及び修繕を行う。 ・地域住民などの意見も取り入れた中で体験施設の新しい用途を見出していく。 |

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
- ・新型コロナウイルス感染症の第7派や第8派並びに物価高騰や光熱費の値上げがあったものの、昨年度より大幅な増収を達成し、経費削減にも努めた結果、黒字経営としているところはとても評価できる。引き続き、適正な収支管理をしていただきたい。
- ・特産品の開発や独自のイベント等の開催も行う中で、利用者数も昨年度から大幅に増やすことができている。
- ・レストランを外部委託とし、自立支援を続ける中で受託業者の営業努力を引き出し、利用者の増加に繋げている。
- ・そばやうらじろ等の特産品を活用した取り組みにも努力していただけており、地域産業の振興と住民福祉の向上に大きく貢献している。
- ・引き続き、適切な運営を行っていただきたい。